

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7701157号
(P7701157)

(45)発行日 令和7年7月1日(2025.7.1)

(24)登録日 令和7年6月23日(2025.6.23)

(51)国際特許分類

F I

B 4 4 F 1/06 (2006.01)

B 4 4 F 1/06

A 4 7 G 1/17 (2006.01)

A 4 7 G 1/17

請求項の数 7 (全12頁)

(21)出願番号	特願2021-5197(P2021-5197)	(73)特許権者	320005501
(22)出願日	令和3年1月15日(2021.1.15)		株式会社電通
(65)公開番号	特開2022-109730(P2022-109730 A)		東京都港区東新橋1丁目8番1号
(43)公開日	令和4年7月28日(2022.7.28)	(74)代理人	230104019
審査請求日	令和5年11月14日(2023.11.14)		弁護士 大野 聖二
		(74)代理人	100106840
			弁理士 森田 耕司
		(74)代理人	100131451
			弁理士 津田 理
		(74)代理人	100167933
			弁理士 松野 知紘
		(74)代理人	100174137
			弁理士 酒谷 誠一
		(74)代理人	100184181
			弁理士 野本 裕史

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 装飾品、装飾部材および装飾品セット

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

装飾部本体と、少なくとも第1～第3の装飾部材と、を備え、
前記装飾部本体は、
第1面と、その反対側の第2面と、を有する第1透明板と、
前記第1面および前記第2面に貼り付けられた、表面に複数の微細な突起が設けられた透明な第1シートと、を有し、
前記第1～第3の装飾部材のそれぞれは、
第3面と、その反対側の第4面と、を有し、前記第3面の縁は前記第4面の縁の内側にあり、前記第3面の縁と前記第4面との間に傾斜面が設けられた、前記第1透明板より小さな第2透明板と、
前記第4面に貼り付けられた、表面に複数の微細な突起が設けられた透明な第2シートと、
前記第2透明板における第1位置に配置され、前記第3面から突出しており、突出した側がS極で、前記第4面側がN極である第1マグネットと、
前記第2透明板の中心に対して前記第1位置と点対称となる第2位置に配置され、前記第3面から突出しており、突出した側がN極で、前記第4面側がS極である第2マグネットと、を有し、
前記第1装飾部材は、前記第1透明板の第1面に貼り付けられた第1シートに、前記第1装飾部材の第3面から突出した第1マグネットおよび第2マグネットが接するよう配置

され、

前記第2装飾部材は、前記第1透明板の第2面に貼り付けられた第1シートに、前記第2装飾部材の第3面から突出した第1マグネットおよび第2マグネットが接し、かつ、前記第1装飾部材の第1マグネットと、前記第2装飾部材の第2マグネットとが対向するよう配置され、

そのような前記第1装飾部材および前記第2装飾部材の配置ならびに前記第1シートの存在によって、前記第1透明板を挟んで前記第1装飾部材と前記第2装飾部材とが固定されており、

前記第3装飾部材は、前記第2装飾部材の第4面に貼り付けられた第2シートに、前記第3装飾部材の第3面から突出した第1マグネットおよび第2マグネットが接し、かつ、前記第2装飾部材の第1マグネットと、前記第3装飾部材の第1マグネットとが対向するよう配置され、

そのような前記第2装飾部材および前記第3装飾部材の配置ならびに前記第2シートの存在によって、前記第3装飾部材が前記第2装飾部材に固定されている、装飾品。

【請求項2】

第1面と、その反対側の第2面と、を有する第1透明板と、

前記第1透明板における第1位置に配置され、前記第1面側がS極であり、前記第2面側がN極である第1マグネットと、

前記第1透明板の中心に対して前記第1位置と点対称となる第2位置に配置され、前記第1面側がN極であり、前記第2面側がS極である第2マグネットと、

前記第2面に貼り付けられた、表面に複数の微細な突起が設けられた透明な第1シートと、を備える装飾部材。

【請求項3】

第1面と、その反対側の第2面と、を有する第1透明板と、

前記第1透明板における第1位置に配置され、前記第1面側がS極であり、前記第2面側がN極である第1マグネットと、

前記第1透明板の中心に対して前記第1位置と点対称となる第2位置に配置され、前記第1面側がN極であり、前記第2面側がS極である第2マグネットと、を備え、

前記第1マグネットおよび前記第2マグネットは、前記第1面から突出している、装飾部材。

【請求項4】

前記第1面の縁は前記第2面の縁の内側にあり、

前記第1透明板は、前記第1面の縁と前記第2面との間に設けられた傾斜面を有する、請求項3に記載の装飾部材。

【請求項5】

装飾部本体と、複数の装飾部材と、を備え、

前記複数の装飾部材のそれぞれは、

第1面と、その反対側の第2面と、を有する第1透明板と、

前記第1透明板における第1位置に配置され、前記第1面側がS極であり、前記第2面側がN極である第1マグネットと、

前記第1透明板の中心に対して前記第1位置と点対称となる第2位置に配置され、前記第1面側がN極であり、前記第2面側がS極である第2マグネットと、を有し、

前記装飾部本体は、

第3面と、その反対側の第4面と、を有する第2透明板と、

前記第3面および前記第4面に貼り付けられた、表面に複数の微細な突起が設けられた透明な第2シートと、を有し、

前記複数の装飾部材における第1装飾部材が前記装飾部本体の第3面側に設けられ、前記複数の装飾部材における第2装飾部材が前記装飾部本体の第4面側に設けられ、前記第1装飾部材の第1マグネットと、前記第2装飾部材の第2マグネットとが引き合うことで前記第1装飾部材および前記第2装飾部材が前記装飾部本体に固定可能である、装飾品セ

10

20

30

40

50

ット。

【請求項 6】

第 2 透明板の第 3 面と、その反対側の第 4 面と、に貼り付けることが可能な、表面に複数の微細な突起が設けられた透明な第 2 シートと、

複数の装飾部材と、を備え、

前記複数の装飾部材のそれぞれは、

第 1 面と、その反対側の第 2 面と、を有する第 1 透明板と、

前記第 1 透明板における第 1 位置に配置され、前記第 1 面側が S 極であり、前記第 2 面側が N 極である第 1 マグネットと、

前記第 1 透明板の中心に対して前記第 1 位置と点対称となる第 2 位置に配置され、前記第 1 面側が N 極であり、前記第 2 面側が S 極である第 2 マグネットと、を有し、

前記複数の装飾部材における第 1 装飾部材が前記第 2 透明板の第 3 面側に設けられ、前記複数の装飾部材における第 2 装飾部材が前記第 2 透明板の第 4 面側に設けられ、前記第 1 装飾部材の第 1 マグネットと、前記第 2 装飾部材の第 2 マグネットとが引き合うことで前記第 1 装飾部材および前記第 2 装飾部材が前記第 2 透明板に固定可能である、装飾品セット。

【請求項 7】

前記複数の装飾部材における第 1 装飾部材を、前記第 2 透明板の第 3 面に前記第 1 装飾部材の第 1 マグネットおよび第 2 マグネットが対向するよう配置し、

前記複数の装飾部材における第 2 装飾部材を、前記第 2 透明板の第 4 面に前記第 2 装飾部材の第 1 マグネットおよび第 2 マグネットが対向し、かつ、前記第 1 装飾部材の第 1 マグネットと、前記第 2 装飾部材の第 2 マグネットとが引き合うように配置することによって、前記第 2 透明板を挟んで前記第 1 装飾部材と前記第 2 装飾部材とを固定させることが可能であり、

前記複数の装飾部材における第 3 装飾部材を、前記第 2 装飾部材の第 2 面に前記第 3 装飾部材の第 1 マグネットおよび第 2 マグネットが対向し、かつ、前記第 2 装飾部材の第 1 マグネットと、前記第 3 装飾部材の第 1 マグネットとが引き合うように配置することによって、前記第 2 装飾部材と前記第 3 装飾部材とを固定させることが可能である、請求項 5 または 6 に記載の装飾品セット。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、装飾品、装飾部材および装飾品セットに関する。

【背景技術】

【0002】

特許文献 1 には、平板状の色付きの亚克力樹脂からなる合成樹脂材と、この裏面に貼着したマグネット材から構成される有色タイルとを並べることにより、個人の好み等に応じて形状を自由に選択できる組み合わせ鏡が開示されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【文献】特開 2006-204664 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

これまでにない新規な装飾品、そのような装飾品用の装飾部材および装飾品セットを提供する。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明の一態様によれば、装飾部本体と、少なくとも第 1～第 3 の装飾部材と、を備え

10

20

30

40

50

、前記装飾部本体は、第1面と、その反対側の第2面と、を有する第1透明板と、前記第1面および前記第2面に貼り付けられた、表面に複数の微細な突起が設けられた透明な第1シートと、を有し、前記第1～第3の装飾部材のそれぞれは、第3面と、その反対側の第4面と、を有し、前記第3面の縁は前記第4面の縁の内側にあり、前記第3面の縁と前記第4面との間に傾斜面が設けられた、前記第1透明板より小さな第2透明板と、前記第4面に貼り付けられた、表面に複数の微細な突起が設けられた透明な第2シートと、前記第2透明板における第1位置に配置され、前記第3面から突出しており、突出した側がS極で、前記第4面側がN極である第1マグネットと、前記第2透明板の中心に対して前記第1位置と点対称となる第2位置に配置され、前記第3面から突出しており、突出した側がN極で、前記第4面側がS極である第2マグネットと、を有し、前記第1装飾部材は、前記第1透明板の第1面に貼り付けられた第1シートに、前記第1装飾部材の第3面から突出した第1マグネットおよび第2マグネットが接するよう配置され、前記第2装飾部材は、前記第1透明板の第2面に貼り付けられた第1シートに、前記第2装飾部材の第3面から突出した第1マグネットおよび第2マグネットが接し、かつ、前記第1装飾部材の第1マグネットと、前記第2装飾部材の第2マグネットとが対向するよう配置され、そのような前記第1装飾部材および前記第2装飾部材の配置ならびに前記第1シートの存在によって、前記第1透明板を挟んで前記第1装飾部材と前記第2装飾部材とが固定されており、前記第3装飾部材は、前記第2装飾部材の第4面に貼り付けられた第2シートに、前記第3装飾部材の第3面から突出した第1マグネットおよび第2マグネットが接し、かつ、前記第2装飾部材の第1マグネットと、前記第3装飾部材の第1マグネットとが対向するよう配置され、そのような前記第2装飾部材および前記第3装飾部材の配置ならびに前記第2シートの存在によって、前記第3装飾部材が前記第2装飾部材に固定されている、装飾品が提供される。

【0006】

本発明の別の態様によれば、第1面と、その反対側の第2面と、を有する第1透明板と、前記第1透明板における第1位置に配置され、前記第1面側がS極であり、前記第2面側がN極である第1マグネットと、前記第1透明板の中心に対して前記第1位置と点対称となる第2位置に配置され、前記第1面側がN極であり、前記第2面側がS極である第2マグネットと、を備える装飾部材が提供される。

【0007】

前記第2面に貼り付けられた、表面に複数の微細な突起が設けられた透明な第1シートを備えてもよい。

【0008】

前記第1マグネットおよび前記第2マグネットは、前記第1面から突出していてもよい。

【0009】

前記第1面の縁は前記第2面の縁の内側にあり、前記第1透明板は、前記第1面の縁と前記第2面との間に設けられた傾斜面を有してもよい。

【0010】

本発明の別の態様によれば、装飾部本体と、上記の複数の装飾部材と、を備え、前記装飾部本体は、第3面と、その反対側の第4面と、を有する第2透明板と、前記第3面および前記第4面に貼り付けられた、表面に複数の微細な突起が設けられた透明な第2シートと、を有する、装飾品セットが提供される。

【0011】

本発明の別の態様によれば、第2透明板の第1面と、その反対側の第2面と、に貼り付けることが可能な、表面に複数の微細な突起が設けられた透明な第2シートと、上記の複数の装飾部材と、を備える、装飾品セットが提供される。

前記複数の装飾部材における第1装飾部材を、前記第2透明板の第3面に前記第1装飾部材の第1マグネットおよび第2マグネットが対向するよう配置し、前記複数の装飾部材における第2装飾部材を、前記第2透明板の第4面に前記第2装飾部材の第1マグネットおよび第2マグネットが対向し、かつ、前記第1装飾部材の第1マグネットと、前記第2

装飾部材の第２マグネットとが引き合うように配置することによって、前記第２透明板を挟んで前記第１装飾部材と前記第２装飾部材とを固定させることが可能であり、前記複数の装飾部材における第３装飾部材を、前記第２装飾部材の第２面に前記第３装飾部材の第１マグネットおよび第２マグネットが対向し、かつ、前記第２装飾部材の第１マグネットと、前記第３装飾部材の第１マグネットとが引き合うように配置することによって、前記第２装飾部材と前記第３装飾部材とを固定させることが可能であるのがよい。

【図面の簡単な説明】

【００１２】

【図１】一実施形態に係る装飾品の例を示す図。

【図２Ａ】装飾部本体１の概略正面図。

10

【図２Ｂ】装飾部本体１の概略側面図。

【図３】透明シート１３ａの概略断面図。

【図４Ａ】装飾部材２の概略正面図。

【図４Ｂ】装飾部材２の概略側面図。

【図５Ａ】装飾部本体１と装飾部材２の配置の一例を説明するための概略正面図。

【図５Ｂ】装飾部本体１と装飾部材２の配置の一例を説明するための概略側面図。

【図６Ａ】装飾部本体１と装飾部材２の配置の別の例を説明するための概略正面図。

【図６Ｂ】装飾部本体１と装飾部材２の配置の別の例を説明するための概略側面図。

【発明を実施するための形態】

【００１３】

20

以下、本発明に係る実施形態について、図面を参照しながら具体的に説明する。

【００１４】

図１は、一実施形態に係る装飾品の例を示す図である。装飾品は、装飾部本体１と、その両面に固定された複数の装飾部材２とを備えている。まずは、装飾部本体１および装飾部材２についてそれぞれ説明する。

【００１５】

図２Ａおよび図２Ｂは、それぞれ、装飾部本体１の概略正面図および概略側面図である。装飾部本体１は、アクリル板１１（透明板）と、スタンド１２と、透明シート１３ａ，１３ｂとを有する。なお、図２Ｂ等では分かりやすさのためにアクリル板１１および透明シート１３ａ，１３ｂを厚く描いている。

30

【００１６】

アクリル板１１は複数の装飾部材２が固定されるものである。アクリル板１１は装飾部材２より大きければよく、形状に特段の制限はないが、例えば矩形である。また、アクリル板１１は、その存在が目立たないよう、無色透明であるのが望ましい。

【００１７】

スタンド１２はアクリル板１１を鉛直方向に保持する。一例として、スタンド１２は、底面１２ａと、底面１２ａから鉛直上向きに伸びる鉛直面１２ｂとを有する。鉛直面１２ｂには上端から下向きのスリット１２ｃが形成されており、このスリット１２ｃにアクリル板１１を嵌めることでアクリル板１１が保持される。スタンド１２もアクリル製であり、無色透明であるのが望ましい。なお、他の手法でアクリル板１１を保持する場合、スタンド１２を設けなくてもよい。

40

【００１８】

透明シート１３ａ，１３ｂは表面に複数の微細な突起が設けられたシートである。そして、透明シート１３ａはアクリル板１１の一方の面１１ａに貼り付けられ、透明シート１３ｂはアクリル板１１の反対側の面１１ｂに貼り付けられる。ここで、透明シート１３ａ，１３ｂは同じものであってよく、以下代表して透明シート１３ａについて説明する。

【００１９】

図３は、透明シート１３ａの概略断面図である。透明シート１３ａは、透明な樹脂製の基材１３１と、その表面に形成された多数の微細な突起１３２とを有する。突起１３２は、基材１３１に近いほど鉛直方向断面が大きく、かつ、アスペクト比（底面の直径に対す

50

る高さの比)が1以上の概略円錐形状であってよい。そして、隣接する突起132のピッチは可視光未満(例えば250nm以下)である。透明シート13aとして、例えば三菱ケミカル社製のモスアイ型高機能フィルム「モスマイト」(登録商標)を用いることができる。

【0020】

本実施形態では、このような突起132が設けられることで、アクリル板11における光の反射が抑えられて透明度が高くなること、および、表面の摩擦が大きくなることを利用する。

【0021】

図4Aおよび図4Bは、それぞれ、装飾部材2の概略正面図および概略側面図である。装飾部材2は、アクリル板21(透明板)と、透明シート22と、マグネット23a、23bとを有する。

【0022】

アクリル板21の形状や大きさに特に制限はないが、装飾性を高めるべく有色透明(特に蛍光色)であるのが望ましい。また、互いにアクリル板21の色が異なる装飾部材2があるのがより望ましい。色を重ねることで立体的な見え方を実現できるためである。

【0023】

そして、図4Aに示すように、アクリル板21は、一方側の面(図4Aの一点鎖線で示す面、以下、便宜上「下面」という)21aより反対側の面(図4Bの実線で示す面、以下、便宜上「上面」という)21bの方が大きい。例えば、アクリル板21の形状は、下面21aは一辺が約20mmの概略正方形、上面21bは一辺が約17mmの概略長方形、厚さは約1mmとすることができる。正面から見ると、下面21aの縁は上面21bの内側にある。そして、図4Bに示すように、アクリル板21には、下面21aの縁と上面21bの縁との間に傾斜面21cが設けられる。もちろん、アクリル板21は概略正方形に限らず、円形その他任意の形状であってよい(特に点対称の形状が望ましい)。

【0024】

透明シート22は表面に複数の微細な突起が設けられたシートであり、アクリル板21の上面21bに貼り付けられる。この透明シート22も図3に示すものであってよく、やはり「モスマイト」(登録商標)を用いることができる。

【0025】

マグネット23aの形状や大きさに特に制限はないが、あまり目立たないよう大きすぎないのがよく、例えば断面の直径が約3mmの円柱形状とするのがよい。マグネット23aはアクリル板21の中心ではない所定の位置(例えば、対角線上であって、その中心が上面21bの縁から約4.5mmの位置)に配置されている。より具体的には、アクリル板21の当該位置に穴が形成され、その穴にマグネット23aが嵌められる。そして、穴は下面21a側に貫通しており、マグネット23aの先端は下面21aから1mm程度突出している。一方、マグネット23aは上面23b側には貫通していないのが望ましい。上面23b側に貫通してしまうと、マグネット23aの色や質感がそのまま見えてしまうためである。そして、マグネット23aの突出した側(下面21a側)がS極、その反対側(上面21b側)がN極となっている。

【0026】

マグネット23bの形状や大きさに特に制限はないが、マグネット23aと同一形状とするのがよい。マグネット23bは、アクリル板21の中心に対して点対称となる位置に配置されている。また、マグネット23aと同様、マグネット23bもアクリル板21の当該位置に穴が形成され、その穴に嵌められる。望ましくは、穴は下面21a側のみ貫通しており、マグネット23bの先端は下面21aから1mm程度突出している。そして、マグネット23aとは逆に、マグネット23bの突出した側(下面21a側)がN極、その反対側(上面21b側)がS極となっている。

【0027】

マグネット23a、23bの配置位置および極性をこのような入れ違い構造(いわゆる

10

20

30

40

50

「テレコ」) にすることで、後述するように複数の装飾部材 2 を配置する際に、一種類のみの装飾部材 2 で足りることとなり、製造コストを抑えられる。

【0028】

図 5 A および図 5 B は、それぞれ、装飾部本体 1 と装飾部材 2 の配置の一例を説明するための概略正面図および概略側面図である。以下、図 5 A および図 5 B に示される 3 つの装飾部材 2 を装飾部材 2 A ～ 2 C として互いに区別する。図 5 A に示すように、正面から見ると、装飾部材 2 A ～ 2 C は重なって配置されている。

図 5 B に示す装飾部材 2 A, 2 B は以下のように配置される。

【0029】

装飾部材 2 A の下面 2 1 a は装飾部本体 1 のアクリル板 1 1 の面 1 1 a に貼り付けられた透明シート 1 3 a に対向する。より具体的には、装飾部材 2 A の下面 2 1 a から突出したマグネット 2 3 a, 2 3 b が装飾部本体 1 の透明シート 1 3 a に接する。

【0030】

装飾部材 2 B の下面 2 1 a は装飾部本体 1 のアクリル板 1 1 の面 1 1 b に貼り付けられた透明シート 1 3 b に対向する。より具体的には、装飾部材 2 B の下面 2 1 a から突出したマグネット 2 3 a, 2 3 b が装飾部本体 1 の透明シート 1 3 b に接する。

【0031】

そして、装飾部本体 1 を介して、装飾部材 2 A のマグネット 2 3 a と装飾部材 2 B のマグネット 2 3 b とが対向し、装飾部材 2 A のマグネット 2 3 b と装飾部材 2 B のマグネット 2 3 a とが対向する。

【0032】

このような配置により、装飾部材 2 A のマグネット 2 3 a における S 極と、装飾部材 2 B のマグネット 2 3 b における N 極とが引き合う。また、装飾部材 2 A のマグネット 2 3 b における N 極と、装飾部材 2 B のマグネット 2 3 a における S 極とが引き合う。したがって、装飾部本体 1 のアクリル板 1 1 を介して装飾部材 2 A, 2 B が互いに引き合う。そして、アクリル板 1 1 の両面に貼り付けられた透明シート 1 3 a, 1 3 b によって摩擦が生じ、装飾部材 2 A, 2 B が滑り落ちることなく固定される。なお、装飾部材 2 が軽量である場合には、透明シート 1 3 a, 1 3 b の一方または両方を省略してもよい。

【0033】

透明シート 1 3 a, 1 3 b を貼り付けることによってアクリル板 1 1 の透明度が高くなるため、あたかも装飾部材 2 A, 2 B が浮いているように見える。

また、図 5 B に示す装飾部材 2 B, 2 C は以下のように配置される。

【0034】

装飾部材 2 C の下面 2 1 a は装飾部材 2 B の上面 2 1 b に貼り付けられた透明シート 2 2 に対向する。より具体的には、装飾部材 2 C の下面 2 1 a から突出したマグネット 2 3 a, 2 3 b が装飾部材 2 B の透明シート 2 2 に接する。

【0035】

そして、装飾部材 2 C のマグネット 2 3 a と装飾部材 2 B のマグネット 2 3 a とが対向し、装飾部材 2 C のマグネット 2 3 b と装飾部材 2 B のマグネット 2 3 b とが対向する。

【0036】

このような配置により、装飾部材 2 C のマグネット 2 3 a における S 極と、装飾部材 2 B のマグネット 2 3 a における N 極とが引き合う。また、装飾部材 2 C のマグネット 2 3 b における N 極と、装飾部材 2 B のマグネット 2 3 b における S 極とが引き合う。したがって、装飾部材 2 B, 2 C が互いに引き合う。そして、装飾部材 2 B の透明シート 2 2 によって摩擦が生じ、装飾部材 2 B, 2 C が滑り落ちることなく固定される。なお、装飾部材 2 が軽量である場合には、透明シート 2 2 を省略してもよい。

【0037】

ここで、マグネット 2 3 a, 2 3 b が装飾部材 2 の下面 2 1 a から突出しており、また、上面 2 1 b より下面 2 1 a の方が小さいと、一度配置した装飾部材 2 を取り外しやすくなり、扱いが容易である。

10

20

30

40

50

【0038】

図6Aおよび図6Bは、それぞれ、装飾部本体1と装飾部材2の配置の別の例を説明するための概略正面図および概略側面図である。図6Aに示すように、正面から見ると、装飾部材2A～2Cは斜めにずれて配置されている。

【0039】

図5Aおよび図5Bでは、装飾部本体1を挟んで、1つの装飾部材2Aにおける2つのマグネット23a、23bと、他の装飾部材2Bにおける2つのマグネット23b、23aがそれぞれ互いに引き合うものであった。これに対し、図6Aおよび図6Bに示すように、1つの装飾部材2Aにおける1つのマグネット23aのみと、他の装飾部材2Bにおける1つのマグネット23bのみとが互いに引き合うよう、装飾部材2A、2Bを配置してもよい。

10

【0040】

この場合、装飾部材2Aにおけるマグネット23bと、また別の装飾部材2（不図示）におけるマグネット23aとが引き合うよう、装飾部本体1を挟んで別の装飾部材2を配置してもよい。

【0041】

また、図5Aおよび図5Bでは、1つの装飾部材2Bにおける2つのマグネット23a、23bと、他の装飾部材2Cにおける2つのマグネット23a、23bが互いに引き合うものであった。これに対し、図6Aおよび図6Bに示すように、1つの装飾部材2Bにおける1つのマグネット23aのみと、他の装飾部材2Cにおける1つのマグネット23aのみとが互いに引き合うよう、装飾部材2B、2Cを配置してもよい。

20

【0042】

この場合、装飾部材2Bにおけるマグネット23bと、また別の装飾部材2（不図示）におけるマグネット23bとが引き合うよう、装飾部材2Bの上面21b側に別の装飾部材2を配置してもよい。

【0043】

以上の図5Aおよび図5Bあるいは図6Aおよび図6Bに示すようにして装飾部本体1の両面に任意に装飾部材2を配置していくことで、図1に示すような装飾品となる。装飾部材2のマグネット23a、3bを入れ違いに配置することで、装飾部材2の表と裏とがずれることなく配置可能となる。

30

【0044】

なお、図1に示すように装飾部材2を配置済の装飾品を製造販売してもよいし、装飾部本体1のみ、装飾部材2のみ、あるいは、装飾部本体1と装飾部材2のセットで製造販売してもよい。また、既存の亚克力板11に透明シート13を貼り付けることを想定し、透明シート13と装飾部材2とをセットとしてもよい。この場合、透明シート13は丸まった状態から伸ばしても丸まった癖がつきにくいことから、透明シート13をロール状に巻いて提供してもよい。

【0045】

本装飾品の用途は多岐にわたる。例えば、所望のトレードマークとなるよう装飾部材2を配置して店の装飾としたり、客を誘導する矢印形状となるよう装飾部材2を配置してサインとしたりするなど、従来のネオンサインのような使用法が可能である。また、感染症対策として飲食店のテーブルに設けられる間切りとして本装飾品を用いることもできる。

40

【0046】

上述した実施形態は、本発明が属する技術分野における通常の知識を有する者が本発明を実施できることを目的として記載されたものである。上記実施形態の種々の変形例は、当業者であれば当然になしうることであり、本発明の技術的思想は他の実施形態にも適用しうることである。したがって、本発明は、記載された実施形態に限定されることなく、特許請求の範囲によって定義される技術的思想に従った最も広い範囲とすべきである。

【符号の説明】

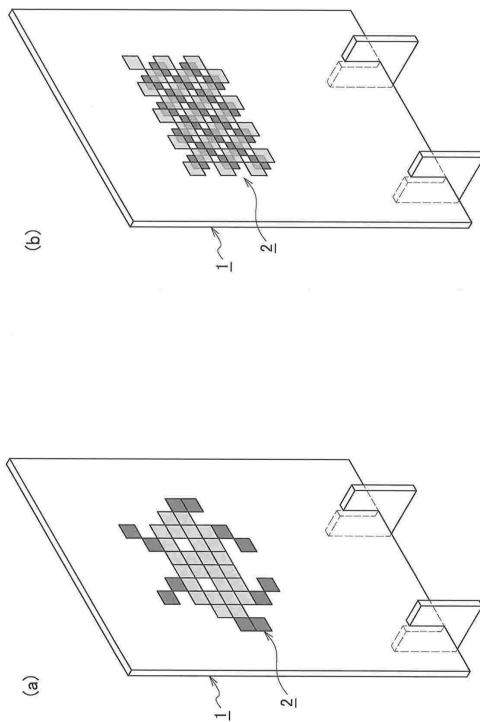
【0047】

50

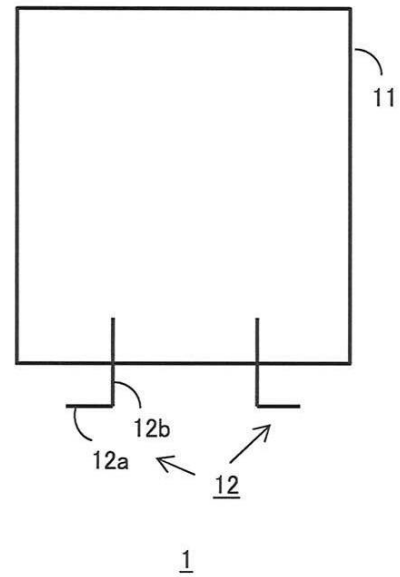
- 1 装飾部本体
- 1 1 アクリル板
- 1 2 スタンド
- 1 3 a、1 3 b 透明シート
- 2, 2 A ~ 2 C 装飾部材
- 2 1 アクリル板
- 2 1 a 下面
- 2 1 b 上面
- 2 2 透明シート
- 2 3 a, 2 3 b マグネット

【図面】

【図 1】



【図 2 A】



10

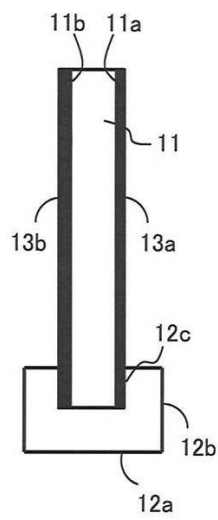
20

30

40

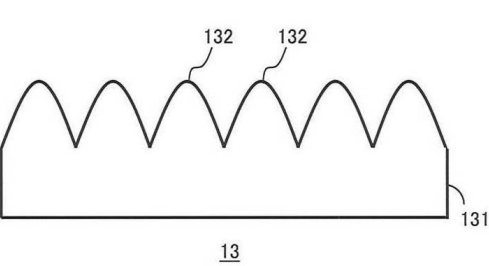
50

【図 2 B】



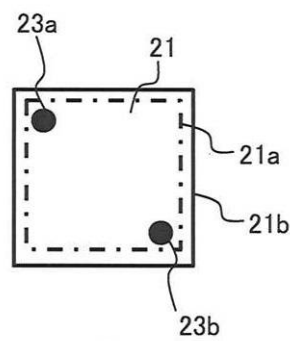
1

【図 3】



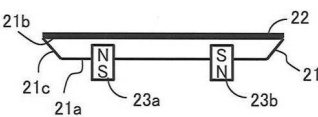
10

【図 4 A】



2

【図 4 B】



2

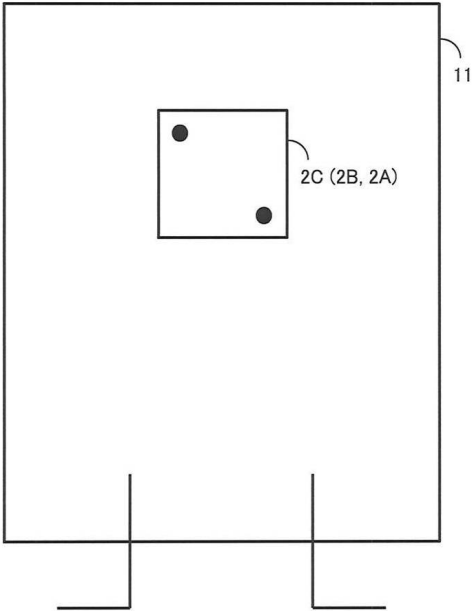
20

30

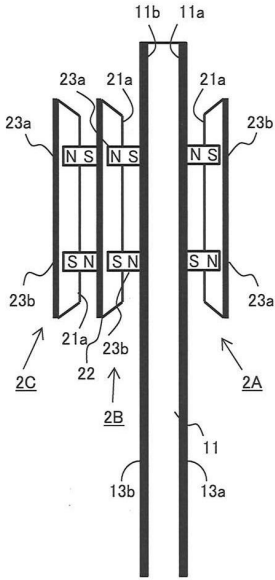
40

50

【図 5 A】



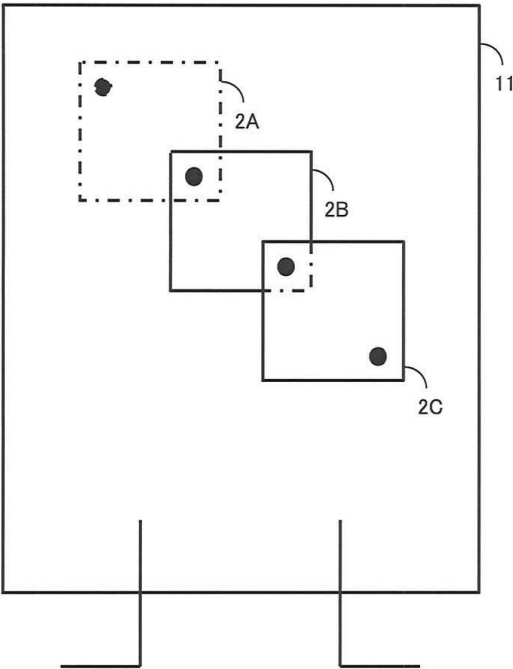
【図 5 B】



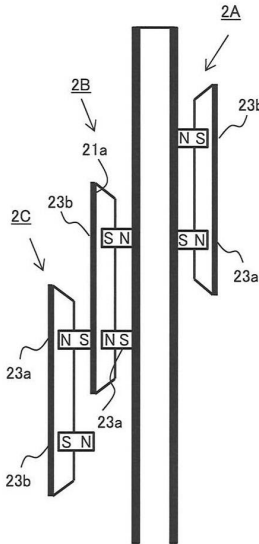
10

20

【図 6 A】



【図 6 B】



30

40

50

フロントページの続き

(72)発明者 辻口 翔太郎

東京都港区東新橋1丁目8番1号 株式会社電通内

審査官 柏原 郁昭

(56)参考文献 国際公開第2020/040160 (WO, A1)

登録実用新案第3049885 (JP, U)

登録実用新案第3140942 (JP, U)

特開2016-016593 (JP, A)

特開2016-193204 (JP, A)

米国特許出願公開第2015/0239285 (US, A1)

特開2004-173757 (JP, A)

(58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)

B44F 1/06

A47G 1/17